



2023（令和5）年の幕明け

新しい年がスタートしました。輝かしい年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

今年は「癸（みずのと）卯（う）」に当たります。既にいろいろな場面で耳にされているとは思いますが、「癸（みずのと）」は静かで温かい大地を潤す恵みの水を表すそうです。十干（じっかん）の最後に当たるため、生命の終わりと新たな生命の成長という意味があります。一方、「卯（う）」はおとなしい兎の性格から家内安全を指し、その跳びはねる姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。しがたって、何かを開始するのに縁起がよく、物事が好転する良い年になると言われています。

さて、栃木県が誕生して150年目となる節目の年でもあります。1873（明治6）年6月15日に栃木県と宇都宮県が合併して現在の栃木県になりました。翌年に県庁が当時の宇都宮町に移転して、以降発展し続けています。県では様々な記念イベントを企画しているようですので、機会を見付けて参加するのもよいと思います（詳細は県のホームページをご参照ください）。そして、我が宇都宮市はLRT（ライトライン）開業の年です。駅東周辺は随分整備されました。これからの本市はスーパースマートシティに向けて一層発展と開発が進むことでしょう。こうしたことから、2023年は歴史と伝統を感じながら未来を創造する年とも表現できると思います。

いずれにしても、児童一人一人をはじめ皆様にとってもこれまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になることを願っております。



1月1日7:01 御来光
・多気山（377m）御殿平にて撮影



令和5年1月10日（火）校長朝会

新年登校初日の朝は、校内テレビ放送を通じて講話を行いました。今回は、創立101周年を迎えた出版社の小学館が元旦の新聞広告として掲載した言葉を引用しました。特に印象に残った部分を紹介しますと、

「小学館が歩んできた100年は、信じることを諦めない100年でした。……あの人気漫画も、図鑑も、さまざまな本も、信じるのがエネルギーになって実現したものばかり。」

という文言です。児童には、自分の秘めたる力を信じて兎のように飛び跳ねて飛躍しようと話しました。

篠井の森でたくましく

1月12日（木）・13日（金）5年生

恒例の冒険活動教室がうつのみや平成記念子どものもり公園内にある宿泊施設、市冒険活動センターにて行われました。

当センターの割当てにより今年度は真冬の中での日程でしたが、天候に恵まれ計画したプログラムを全て消化することができました。

豊かな自然の中で活動することとおして、学年の友達やセンター職員とコミュニケーションを図りながら人間関係を広げることや仲間と協力する素晴らしさを感じるなど、当初のねらいは達成できたと思います。



募金活動のご報告

令和4年12月20日（火）～22日（木）

年内最終週にご家庭へ募金の協力をお願いしました。家庭から預かったお金を優しく募金箱へ入れる姿がたくさん見られました。今回の募金総額は集計の結果、8,784円でした。お預かりしました募金は「赤い羽根共同募金」、「ユニセフ募金」、「NHK歳末助け合い募金」、の各団体へ送金させていただきました。

温かいお心とご協力に感謝申し上げます。



小さな資源でも大きく貢献

1月10日(火)・11日(水)

本校は環境委員会の児童がペットボトルキャップの回収活動をしています。年に2回、回収日を広報して昇降口で集めています。この度は年明けの登校日から2日間、活動しました。各家庭から持ってきた児童に対して、「ありがとうございます。」と大きな声で返し、お礼カードを渡していました。集めたキャップは後日回収業者を通じて関係団体へ寄付し、医療支援、福祉活動等に役立ててもらいます。

日頃から昇降口に回収箱を設置しています。時々、地域の方も訪れて入らせてくださっています。ぜひ、多くの皆様にもご利用していただけたらと思っています。



地域の安全を守る仕事は



1月13日(金) 3年生

社会科学習の一環として宇都宮東警察署関堀町駐在所に勤務する田口源様をお招きしました。

はじめに、警察官そして駐在所の仕事の概要について具体的に話をいただきました。次に、身に付けている装備品の紹介、パトロールカーの内部の見学の場を作ってくださいました。日頃間近で見たことがない物を触れたり見たりした児童の目は輝いていました。

関堀町駐在所の方には多忙な業務の合間を縫って3年続けて授業に協力していただいております。感謝申し上げます。これからも児童のため、そして、本地区でご尽力いただいている方と触れ合いながら学ぶ機会を設けるなどして、教育活動の充実に努めていきます。



学校創立記念集会

1月19日(木) 朝会

1881(明治14)年1月12日、当時の河内郡豊郷村大字横山に「惜陰舎」として本校が開校しました。

本校では創立記念日の近い日に地域の方をお招きし、かつての豊郷北小の様子や思い出を語っていただくことが恒例になっています。

今回はニュー富士見ヶ丘にお住まいで元PTA会長(昭和62年度)を務めておられた池村喜夫様をお願いしました。池村様からは、現在の校舎ができた経緯についてお話いただくとともに、児童に向けて「夢は大きく、根は深く」など励ましの言葉をいただきました。



豊北は
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

ご報告：残念ですが...

12月21日(水)

昨年の終わりに南側法面にある桜の木が枯れていることが判明しました。これまでも枝が風雨によって落ちるたびに、処理をしてきました。通学路であり、車の往来も多いことから、危険を回避するために学校業務機動班をお願いして伐採させていただきました。春の学校を彩る貴重な桜なので残念です。本校は樹木が多い学校ですが、今後も定期的に点検して児童の安全を確保していきます。



体罰等相談に関するお知らせ

市教委における「体罰根絶に向けた取組」の一環として、今年度2回目の相談期間を下記のとおり2日間設けます。体罰やその他ご心配なことがありましたら、ご連絡ください。また、学校へお越しいただいたの相談もお受けいたします。

記

○ 2月14日(火)・15日(水)

○ 9:00~12:00/13:00~16:00

○ 相談窓口は、副校長と校長です。

○ 連絡先 TEL 665-0205

なお、今回の機会でなくてもお気付きの点など出た場合もご相談ください。



お知らせ

2023

【令和4年度卒業式(3/16)について】

今年度の来賓につきましては市教育委員会及び市議会の代表の方が列席する他、PTAから会長と副会長のみとさせていただきます。依然として収束が見込めない新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえた次第です。学校のリーダーとして活躍した卒業生の晴れ姿を地域関係者の方へ披露できず残念でなりません。当日の様子は式典後のホームページや学校だよりで報告させていただきますのでご了承ください。

【お詫びと訂正】12月号において木工作品を提供くださった首藤様のお名前に誤記がありました。お詫びと共に訂正させていただきます。 (誤) 慎一 → (正) 慎二